



しおかぜ



宮城県大会を塩竈市体育館で開催

10月21日(日)塩釜ガス体育館で、第71回宮城県民体育大会2018 少林寺拳法演武大会が開催され、県内30道院・支部が参加しました。昨年までは、宮城県総合運動場で開催しておりましたが、今年は、塩竈市での開催となりました。

当道院では、裏方である集計を担当し、競技への参加は3組のみとなりました。入賞は、一組ではありましたが、充実した大会となりました。

協力いただいた皆さん、お疲れ様でした。



少林神社祭で演武披露

9月9日(日)仙台市若林の少林(わかばやし)神社の例祭で少林寺拳法の演武を披露し少林寺拳法のアピールをしました。年少拳士の単演と組演武を披露し、参加者全員で天地拳第一や突き・蹴り等を披露しました。ご協力いただいた拳士のみまさんお疲れ様でした。

大澤隆 代表法話

2018年11月1日発信

道院長の指導のもと相對演練で光輝く



震災、豪雨災害で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

一雨ごとに朝晩の冷え込みが増し、秋の深まりを感じられる時候となりましたが、皆様には、ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて先月20日、東海地方4県の教区が合同で講習会を開催し、100名を超える道院長と拳士、合わせて400名が愛知県に集いました。県の垣根を越え大勢が会することは稀なことで、普段とは異なった環境、初めて向かい合う仲間との研鑽は大いに充実し、いつも以上に身心を

2018.09.09 少林神社例大祭で



磨く一日となりました。

今回の講習会に参加した道院長の拳士に対する思いはひとつ「道院長になってほしい」です。

この思いは、今回の講習会の技法修練や講話を通して、指導する喜び、金剛禅を社会に活かし、社会に貢献することの魅力に触れたことで、参加した拳士達に十分伝わったのではないかと実感しています。

今後の予定

- ◎12月 8日(土) 10:00から 女性の為の護身術教室 1日目(塩竈道院専有道場 研修室)
- ◎12月15日(土) 10:00から 女性の為の護身術教室 2回目(塩竈道院専有道場 研修室)
- ◎12月22日(土) 15:00から 特別稽古(塩竈道院専有道場) & 忘年会 18:00から(養老の瀧 尾島町店)
- ◎ 1月 6日(日) 10:00から 新春法会及び新年会(塩竈道院専有道場&研修室)
- ◎ 1月20日(日) 9:00から 宮城武専門(青葉体育館)

私も楽しく、有意義に過ごさせていだきました。また、そこで感じたのは道院長の情熱、参加している拳士の幸福感です。

道院は人が集い、学び、汗をかき、喜びや幸せを得る場所です。そのような場を作り、指導し、維持する事に喜びや幸福感を感じ、情熱を注ぐのが道院長です。それゆえ、道院長の笑顔も汗も光り輝いているのです。金剛禅教団の根幹はこの道院長の情熱によって支えられています。その道院長が感じている喜びや幸福感を次の世代の拳士と共有すること。道院長の情熱に触れ、道院長に憧れる人材を育成することこそが金剛禅の布教の礎です。

これは、少林寺拳法の修練は相対(二人一組)で行うことにも通じます。力強く握られた手首、しかし道院長の指導の通り動いてみるとスーツと抜けることに、最初は不思議に感じたことでしょう。「肩の力を抜いてみよう」その指示通りにすることで上達したはず。相手の気持ちを感じてみよう」という道院長の言葉で心に余裕ができ、相手をリスベクトできるようなったはず。柔軟に考えてみよう」というアドバイスでさらに上達し、人生も楽しくなりました。今回の会場でも修練相手に声を掛け合う姿が目映りました。仕事でも人間関係でも共通している事ばかり。ひとりではなく相対だから気づきを得ることが出来、

喜びも倍になる。この講習会中、参加者が大きな幸福感を感じている姿を数多く見ることができました。

さあ、今月も相対での修行を通じ、互いに身心を練磨し、道院長から引き継いだ笑顔と幸せを放射し、輝いてゆきましょう。

中国古典 紹介

「上善じやうぜんは水みづの如ごとし」を掲載 『老子』

「上善」とは、もつとも理想的な生き方を指す。そういう生き方をしたいと願うなら水に学べ、というのだ。では水という点に学べというのか。

まず、水はきわめて柔軟である。どんな形の器にも逆らわずに、器なりに形を変えていく。次にまことに謙虚である。自分を主張することなく、自然に低いところに流れていく。さらに、水は静かな流れのなかにも巨大なエネルギーを秘めている。つまり、柔軟さ、謙虚さ、秘めたるエネルギー、この三つを身につければ、人間も理想の生き方に近づくことができるのだらうという。

ここで『老子』がいう「水」は「川」と解しているが、そのイメージは、日本人と中国人とは大きな違いがある。日本人は、川といえば、さらさらと流れるせせらぎを思い浮かべるだろうが、中国人はまず大河を思い

2018. 10. 21 宮城県大会(塩竈市体育館)



浮かべる。

その典型が長江と黄河である。この二つの河は、遠くから眺めると静かな流れにしか見えない。ところが近くで見ると、流れが渦を巻き、ものすごいエネルギーを感じさせる。私も中国を旅行して実際にこれらの大河を見てから、中国に対するイメージを改めたものである。